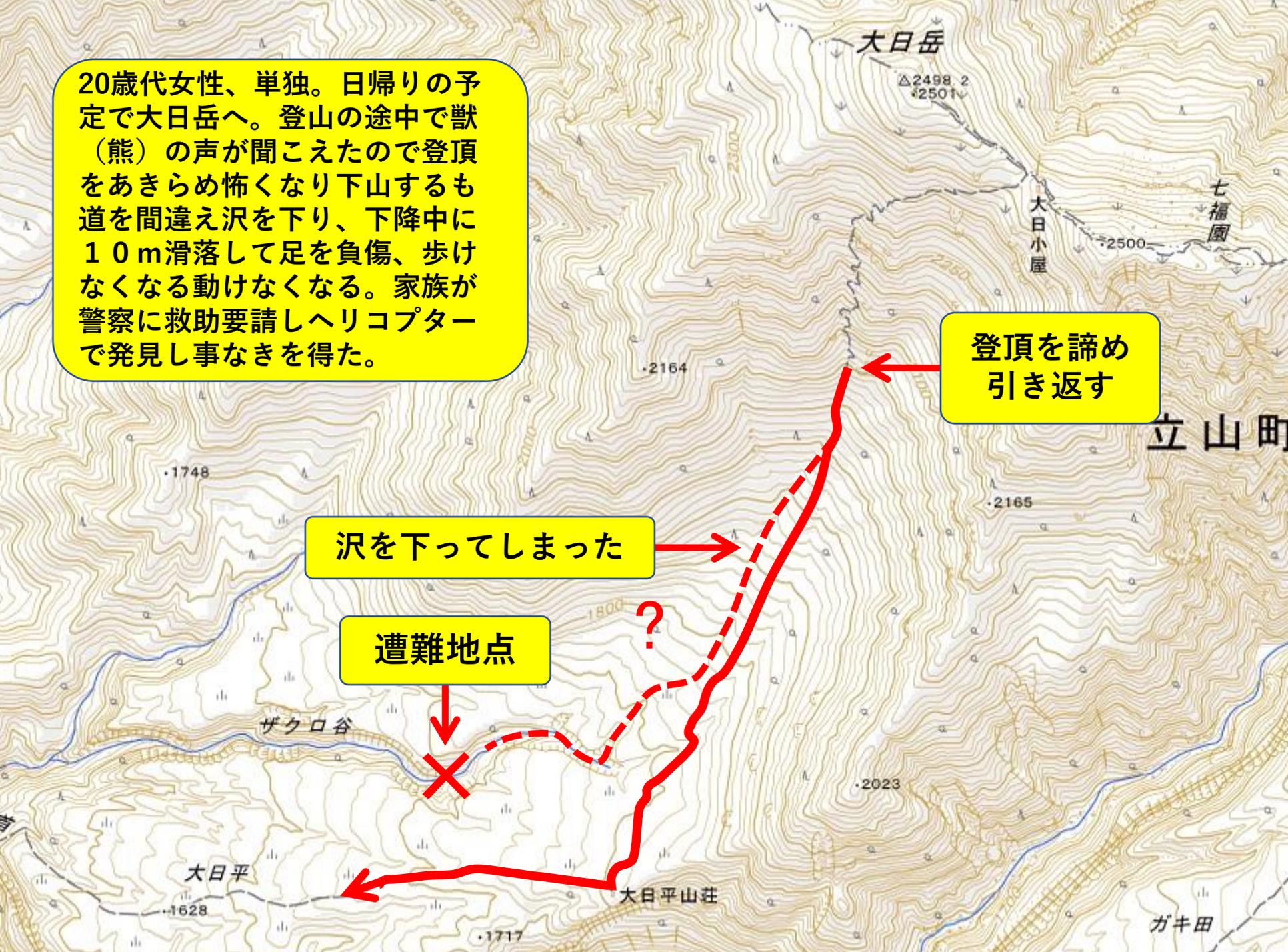


20歳代女性、単独。日帰りの予定で大日岳へ。登山の途中で獣（熊）の音が聞こえたので登頂をあきらめ怖くなり下山するも道を間違え沢を下り、下降中に10m滑落して足を負傷、歩けなくなる動けなくなる。家族が警察に救助要請しヘリコプターで発見し事なきを得た。

登頂を諦め
引き返す

沢を下ってしまった

遭難地点



（遭難概要）登山届の提出がなく、携帯も通じないためどこを搜索してよいのか分からない。メモ帳に「半日トレッキング」の記載があったので山岳遭難の可能性が高いと捜査。称名駐車場に車が合ったため周辺をヘリコプターで搜索したところ沢で動けないところを発見した。

※装備もなかったが、夏で暖かく、水も直近にあったので生存できた事案です。天候が悪かったり、時期が外れていたら死亡していたかもしれません。今回の遭難の原因は、①一本道で迷うことがないとの思い込みで地図も確認していない。②景色が明らかに違うのに止まって確認しなかった。③引き返せなかった。（迷う想定は全くなかった、一般人も通る道で迷うことないという思い込み）④登る途中に、迷うかもしれない場所を確認しなかった。⑤獣の声で動揺していたなどが原因だと思います。

また、①登山計画の提出なし。②家族等にも行き先を知らせていない。③単独登山。④登山歴1年未満の初心者。ということも大きな要因です。

「あれっ？おかしい？」と思ったら、立ち止まってGPSや地図で現在位置を確認し、正しい登山道まで来たルートに戻る以外に方法はない。また、明確な理由なしには、絶対に谷・沢・斜面を下って行ってはいけないことを周知したいと思います。